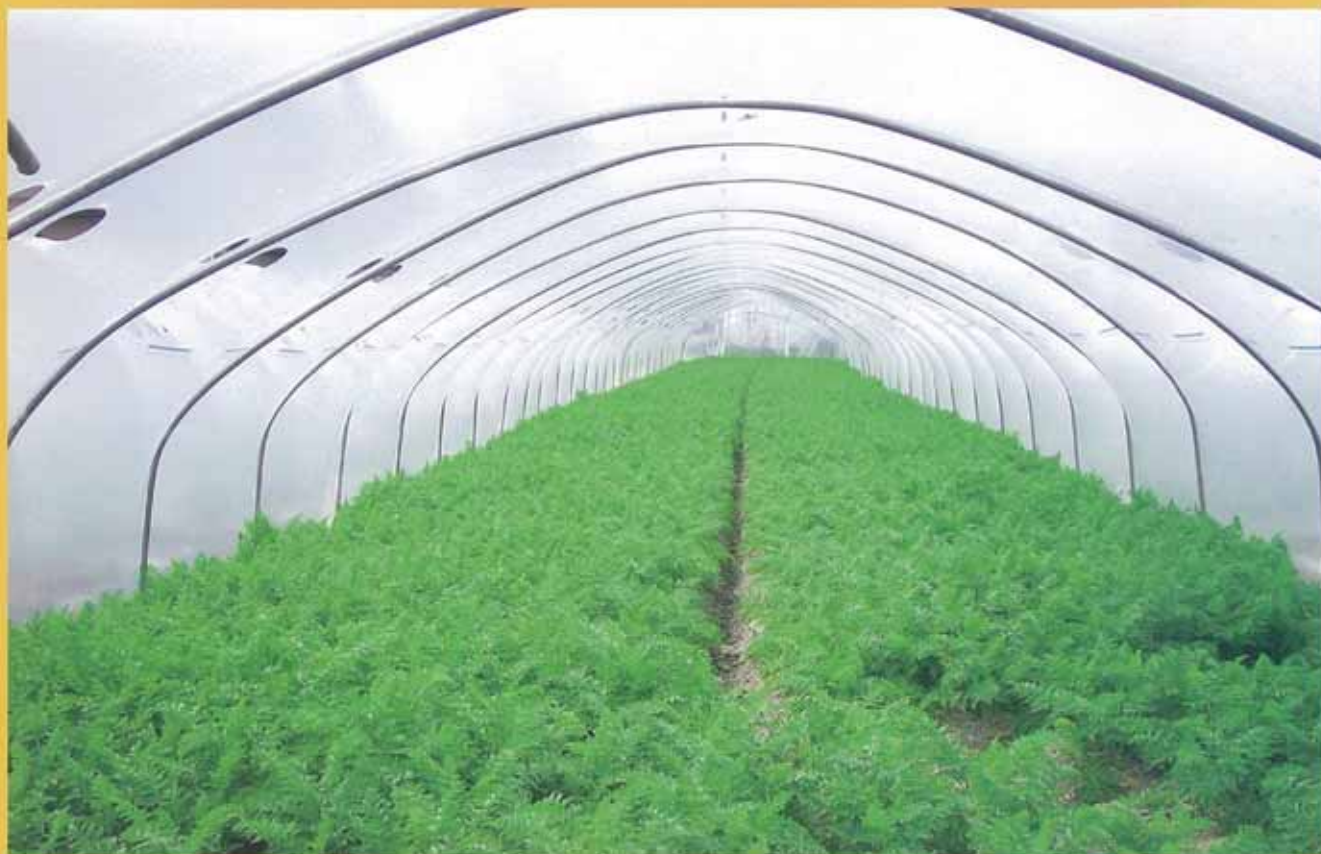




きれいな水 豊かな農業

～ 下流域だより ～ Vol.17



～ Topics ～

- ◆ 航空写真で見る幹線水路の路線
- ◆ 国営事務所職員が
“地域農業”の勉強会に参加
- ◆ 幹線水路管理用の道路通行にご注意ください
- ◆ 吉野川下流域土地改良区からのお知らせ



吉野川下流域地区の農産物 “にんじん”

吉野川下流域地区は、“れんこん”、“かんしょ”、“なし”など多くの種類の農産物が生産され、市場においてもその品質の良さから高い評価を受けています。

その中でもオレンジ色が鮮やかな“にんじん”は、徳島県において昭和30年代前半から本格的な栽培がはじまり、現在では県を代表するブランド作物の一つであり、春夏にんじんの収穫量は全国1位(平成20年)となっています。



航空写真で見る国営幹線水路の路線！

国営総合農地防災事業「吉野川下流域地区」は、吉野川下流部左岸に広がる鳴門市他2市5町の農地、約5,200haに柿原取水口、第十取水口から「吉野川のきれいな水」を配水することを目的に幹線水路の工事を行っています。

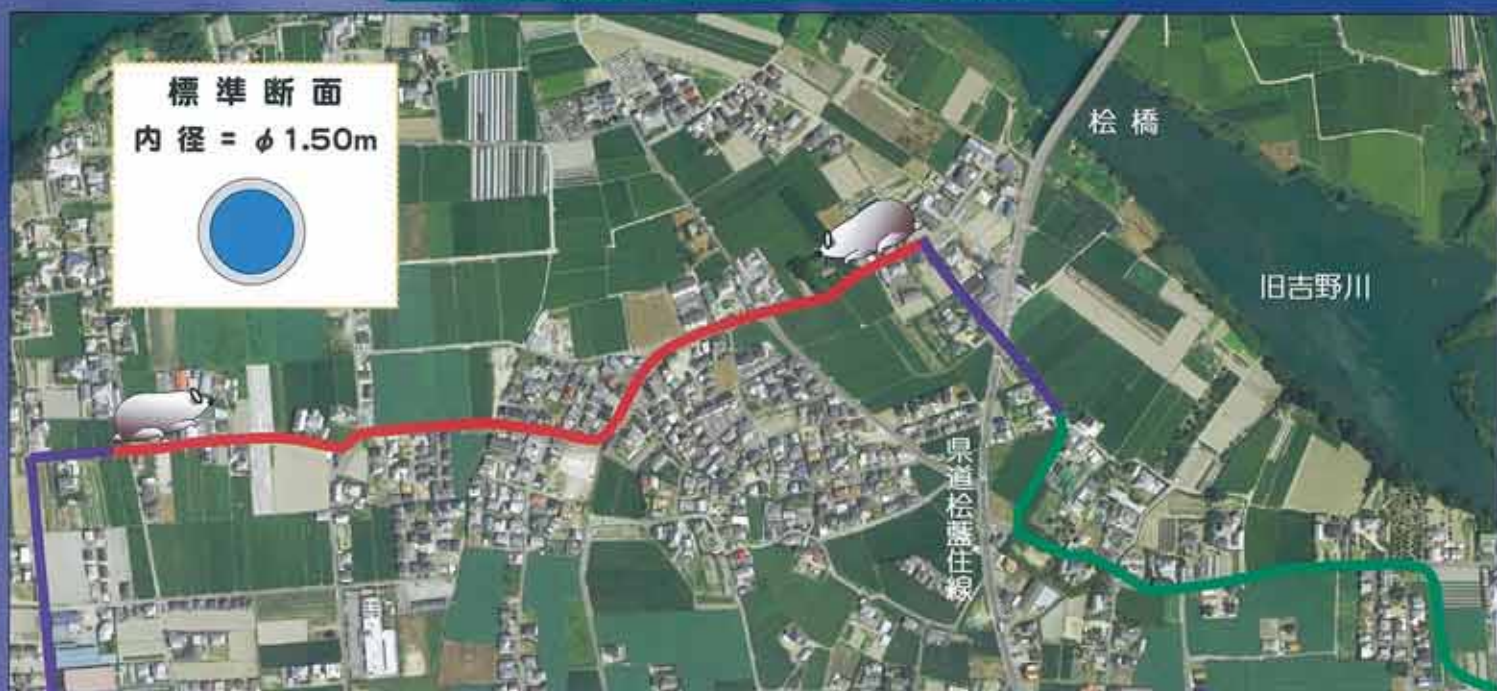
前号では、平成21年度工事の予定を中心に工事の実施状況をお知らせしました。本号は、主に本年度より工事を実施している地区から「北部幹線水路：板野町川端地区」「南部幹線水路：藍住町乙瀬地区」「東部幹線水路：北島町太郎八須地区」の幹線水路の路線を航空写真でご紹介します！

※下記路線には一部作図上、実際と誤差が生じていますのでご注意ください。

北部幹線水路：板野町 川端地区



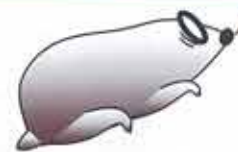
南部幹線水路：藍住町 乙瀬地区



東部幹線水路：北島町 太郎八須地区



北部幹線水路：鳴門市 板東・萩原・松村地区



- : 平成21年度から継続して工事を実施している区間
- : これまでに完成した区間
- : 平成22年度以降に新たに工事をする区間

国営事務所の職員が“地域農業”の勉強会に参加

国営事務所^{※1}は幹線水路などの水利施設整備を進めるだけではなく、地域農業の状況を理解することが重要であると考えています。

そこで2月24日（水）、国営事務所に地域農林経済学会理事で吉野川下流域地区の関係農家でもある野田靖之先生を講師にお迎えして、「地域資源を利用した農業の展開」や「農業の発展のためのブランド化・6次産業化^{※2}の必要性」などに関するご講演をいただきました。

今後とも、このような機会を通じて、地域農業について勉強していきたいと考えています。



※1：国営事務所の正式名称は、“四国東部農地防災事務所”です。

※2：6次産業化とは、生産・加工・販売の連携により農業収益性の増加を推進する取り組みのことで

“1次産業+2次産業+3次産業=6次産業”を意味します。



“幹線水路管理用の道路” 通行にご注意ください！



この看板が設置されている道路は、国営幹線水路管理用の道路です。4月以降“かんがい期”になりますと管内上流部（阿波市吉野町、上板町、板野町）で一部完成した幹線水路通水のための準備が始まります。そのため管理用車両も頻繁に通行し、また一時的な通行制限を行うこともあります。管理用道路を通行の際は、“安全に十分気をつけてゆっくり走行して下さい”。よろしくお願いします。

～吉野川下流域土地改良区からのお知らせ～

平成21年度の通常総代会を3月12日（金）板野町ふれあいプラザで開催し、下記に關係する6議案が決議されました。

- 平成20年度 事業報告、一般会計特別会計収支決算報告
- 役員補欠選任
- 平成22年度 事業報告、一般会計特別会計収支予算 等



総代会による役員補欠選任の後、同日開催された理事会にて“泉 理彦鳴門市長”が当土地改良区の新理事長に選任されました。また、下記9名の理事・監事が新しく地区代表として選任されましたのでご報告します。

新役員 理事長：泉 理彦（鳴門市）

理事：野崎國勝（阿波市）、玉井孝治（板野町）、古川保博（北島町）、池添英明（松茂町）
廣岡英生（鳴門市）、坂東二三男（徳島市）、市原泰典（徳島市）

監事：楠 博文（鳴門市）

※敬称略

○ 本紙に関するお問い合わせ先：


中国四国農政局四国東部農地防災事務所：板野郡板野町川端字庄境 2-1

電話 088-(672)-5252

吉野川下流域土地改良区

：鳴門市大麻町萩原字アコメン 3-1

電話 088-(683)-5811

（愛称：  水土里ネット吉野川下流域）

【平成22年3月15日】